

2019年11月13日

デジタルカラー複合機フラッグシップモデルの ラインアップを拡充

「ApeosPort-VII C / DocuCentre-VII C」シリーズに 連続複写速度毎分 30 枚機 2 機種を追加

富士フイルムグループの富士ゼロックス株式会社（本社：東京都港区、社長：玉井 光一）は、デジタルカラー複合機のフラッグシップモデル「[ApeosPort-VII C / DocuCentre-VII C](#)」シリーズに、新たに「ApeosPort-VII C 3372/DocuCentre-VII C 3372」の2機種を追加し、11月15日に発売します。

デジタルカラー複合機「ApeosPort-VII C 3372/DocuCentre-VII C 3372」は、シリーズの低速機ラインアップをさらに拡充する連続複写速度 30 枚/分^{注1}の新モデルです。幅広い生産性を実現する本シリーズのラインアップ強化により、場所や時間にとらわれない働き方改革を実践し、オフィスの多様な出力環境を必要とするお客様のニーズに応えます。また、堅牢なオフィスのセキュリティ環境を実現する本シリーズの特長に加え、複合機の機能とサービスの強化により、利便性を向上するICTのセキュアな利用を支援します。

◆ Microsoft Azure Active Directory の認証連携が可能に

Microsoft が提供するクラウドベースの認証サービス「Azure Active Directory」のユーザーアカウントで、当社の複合機への認証が可能になりました。お客様は複数のアカウントとパスワードの管理を必要とせず、複合機から一度サインインの後、追加のログイン操作なしで、複合機で利用可能なクラウドサービスにアクセスできます。これにより、クラウドストレージサービス「Working Folder」^{ワーキングフォルダー} や、各社のクラウドサービスと複合機を一つのインターフェイスで接続する「Cloud Service Hub」^{クラウドサービスハブ}、クラウド経由で移動先の複合機からでもプリント可能となる「Cloud On-Demand Print」^{クラウドオンデマンドプリント} に対して、個別に認証ステップを踏むことなくスムーズに利用できます。普及が進むクラウド系アプリケーションに対応し、複合機のオフィスポータルとしての役割をさらに強化しました。

◆ デバイス設定のバックアップが可能に

クラウドサーバー上に複合機の設定情報をバックアップする「デバイス設定バックアップサービス」の提供を開始しました。定期的に自動で設定情報をバックアップすることで、新しい複合機の設置時やハードディスクの交換時に、従来のデバイスの約 300 項目の設定情報を再設定することなく復元が可能となるほか、専任のシステム担当者がいないオフィスでも容易にデータ移行作業が可能です。さらに、クラウドサーバーを利用して複合機の設定情報をバックアップまたは移行する際には、データの暗号化はもとより通信経路までも暗号化することで、よりセキュアな環境で作業が可能です。

注1: カラー/モノクロともに毎分 30 枚 (A4 ヨコ)

「ApeosPort-VII C / DocuCentre-VII C」シリーズの詳細については、こちらをご参照ください。

◆ApeosPort-VII C シリーズ

https://www.fujixerox.co.jp/product/multifunction/ap7_c7773

◆DocuCentre-VII C シリーズ

https://www.fujixerox.co.jp/product/multifunction/dc7_c7773

【ApeosPort-VII C / DocuCentre-VII C シリーズ 標準価格】

商品名	標準価格(税別)	備考
ApeosPort-VII C3372 PFS	2,430,000 円	コピー・プリント・スキャン・ファクス機能搭載 1パス両面自動読み取り
DocuCentre-VII C3372 P	1,380,000 円	コピー・プリント機能搭載 両面自動読み取りなし
DocuCentre-VII C3372 PFS	1,980,000 円	コピー・プリント・スキャン・ファクス機能搭載 1パス両面自動読み取り

※ 本体価格には、オプション商品や消耗品の価格を含みません。

- Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
- その他プレスリリースに掲載されているサービス、商品名などは各社の登録商標または商標です